

健全性と収益力で、 みなさまの信頼に応えます。

健全な経営を維持していく
ための十分な純資産額を
備えています。

実質純資産額

2兆7,803億円

実質純資産額とは、時価評価した資産から、ご契約にかかわる各種負債等を差し引いた、いわゆる時価ベースの純資産額で、保険会社の健全性の状況を示す行政監督上の指標の一つです。平成16年度上半期末の実質純資産額は2兆7,803億円で、一般勘定資産に対する比率は11.4%と十分な水準を確保しています。

保険本業において
安定した収益力を有して
います。

基礎利益

2,346億円

 (平成16年4~9月)

基礎利益とは、保険本業の期間収益の状況を表わした、生命保険会社のフローの収益力を示す指標の一つです。平成16年度上半期の基礎利益は2,346億円と十分な水準を確保しています。

厳格な自己査定を実施し、
資産内容の健全性を堅持
しています。

リスク管理債権

0.67%

 (リスク管理債権額の貸付残高に対する比率)

リスク管理債権とは、貸付金のうち、返済状況が正常でない債権を「破綻先債権」「延滞債権」「3ヵ月以上延滞債権」「貸付条件緩和債権」の4つに区分した総称です。平成16年度上半期末のリスク管理債権額は491億円、貸付残高に対する比率は0.67%と、きわめて低い水準を堅持しています。



堅実

